



1. アルフォンス・ミュシャ
「サラ・ベルナール」ポスター 1896 サントリーポスターコレクション
(大阪中之島美術館寄託) ※前期展示



2. エミール・オルリク
「ボトロフスキー手袋店」ポスター 1897 宇都宮美術館蔵

特別展

2020 日・チェコ交流 100 周年

ミュシャと日本、日本とオルリク

Mucha and Japan / Japan and Orlik

IN COMMEMORATION OF THE 100TH ANNIVERSARY OF JAPAN-CZECH REPUBLIC RELATIONS

2019 年 11 月 2 日 (土) - 12 月 15 日 (日)

プレス向け内覧会・開会式のご案内

2019 年 11 月 1 日 (金) (内覧会 11:30 ~ ・ ~ 開会式 13:00 ~)

※「外交史料と近代日本のあゆみ」(主催: 和歌山県、和歌山県教育委員会、
外務省外交史料館) 内覧会・開会式も同時に行います。

当日の見学は招待者、報道機関のみとなります。ぜひ、この機会を利用してご取材いただき、展覧会の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>

特別展 2020 日・チェコ交流 100 周年 ミュシャと日本、日本とオルリク 2019 年 11 月 2 日（土）～ 12 月 15 日（日）

この展覧会は、チェコ出身のふたりのアーティスト、アルフォンス・ミュシャ（1860～1939）とエミール・オルリク（1870～1932）に光をあて、ジャポニズム（日本趣味）の影響を受けて展開した同時代のチェコの美術や、ミュシャとオルリクの影響を受けた日本の作家たち、さらにはオルリクと交流のあったウィーンやボヘミア地方の作家たちを採り上げ、グラフィックを舞台に展開した東西の交流を紹介するものです。

ミュシャは、ジャポニズムに湧くパリで、女優サラ・ベルナールを描いたポスターで一世を風靡し、アール・ヌーヴォーを代表する画家となりました。その評判は日本にも伝えられ、藤島武二など文芸美術誌『明星』や洋画団体「白馬会」周辺の画家たちに影響を与えました。

一方プラハに生まれ、ミュンヘンで絵を学んだオルリクは、プラハを拠点にベルリンやウィーンでジャポニズムの潮流にふれて日本への憧れを募らせ、1900 年から翌年にかけて来日しました。浮世絵版画の彫りや摺りを学び、自ら多色摺の木版画を制作したほか、滞日中にオルリクが制作した石版画は、画家による版画への取り組みという新しい意識を一部の日本人に呼び起こし、日本の創作版画が誕生する機縁となりました。帰国後は自作や日本で得た資料をプラハやウィーン、ベルリン等で展示し、それぞれの地の芸術家に影響を与え、カール・ティーマンやヴァルター・クレムといった作家を木版画制作に駆り立てました。

こうした 1900 年前後のヨーロッパと日本の影響関係は、グラフィックを介したジャポニズムとその還流と捉えることができます。グラフィックならではの、即時的で双方向な「めぐるジャポニズム」の様相をお楽しみください。



3. 葛飾北斎 富嶽三十六景 神奈川沖浪裏 1831-1833頃
千葉市美術館蔵

展覧会構成

序章 ジャポニズム光琳、型紙、そして浮世絵

第1章 チェコのジャポニズム

第2章 ミュシャと日本

第3章 日本とオルリク

第4章 オルリク、日本の思い出／オルリクの後継者たち

会期中、展示替えがあります。前期：11 月 2 日～11 月 24 日 / 後期：11 月 26 日～12 月 15 日



4. ヴァレンティン・ヘルディチカ
「日本の版画 プルノ P.U.V. クラブ第31回展」ポスター
1913 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵



5. ヴォイチェフ・プライシク
冬のモチーフ 1906 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵



6. ヴォイチェフ・プライシク 少女の思い
1903 カラーエッチング、紙 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵



7. アルノシュト・ホフバウエル
「マーネス美術家協会第2回展会」
ポスター 1898 チェコ国立プラハ工芸美術館蔵

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

※文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

Alfons Mucha アルフォンス・ミュシャ



8.「ラ・ブリュム」誌の黄道十二宮カレンダー
1897 インテック蔵 ※前期展示



9.〈宝石〉 左から「アメジスト」「ルビー」「エメラルド」「トパーズ」 1900 インテック蔵

Emil Orlik エミール・オルリク



10.ロンドンの怠け者たち 1896-1899 宮城県美術館蔵
※後期展示



11.雨の日 版画集「日本便り」
1902-1903 宮城県美術館蔵



12.築地第一ホテルの前の人力車 1901
パトリック・シモン・コレクション、ブラハ



13.ルートヴィヒ・ハインリヒ・ユンクニッケル
豹 シェーンブルンの動物たち 1909
京都国立近代美術館蔵 ※前期展示



15.ヴァルター・クレム
村の見える山岳風景 1905
ダッハウ市、ティーマンコレクション /
ダッハウ絵画館 ※前期展示



14. カール・ティーマン
逆光 1909 ダッハウギャラリー美術館連盟/ダッハウ絵画館 ※前期展示



16.アルフレート・ローラー
「ウィーン分離派第9回展」
ポスター 1901 京都工
芸繊維 大学美術工芸資料
館蔵AN.3335



17.コロマン・モーザー
「ウィーン分離派第13回展」
ポスター 1902 サント
リーポスターコレクション(大
阪中之島美術館寄託)
※後期展示

関連事業

●演奏者による解説つきコンサート

「20世紀初頭のクラシック音楽とジャポニスム プッチーニ、ドビュッシー、マルチヌー、ドヴォジャーク、ヤナーチェクほか」

11月24日(日) 14:00~15:00 場所: 当館ホール

出演: 西島麻子(構成、解説、ピアノ)、小林厚子(ソプラノ)

先着 100名

●講演会「大戦間期におけるチェコのジャポニスム」

12月8日(日) 14:00~15:30 場所: 当館ホール

講師: ヘレナ・チャプコヴァー(立命館大学准教授)

●連続講座

①11月4日(月・休) 14:00~

「ミュシャと日本のアール・ヌーヴォー」

講師 井上芳子(当館学芸課長)

②11月30日(土) 14:00~

「チェコと日本、知られざる表現の交差について」

講師 山野英嗣(当館館長)

③12月14日(土) 14:00~

「ボヘミアの版画家たち オルリック、クレム、ティーマン」

講師 青木加苗(当館学芸員)

●フロアレクチャー(学芸員による展示解説)

11月2日(土)、11月10日(日)、12月15日(日)

14:00~ 場所: 1階展示室(要観覧券)



18. エミール・オルリック 富士山への巡礼 1901
パトリック・シモン・コレクション、プラハ



19. 藤島武二(装幀)『みだれ髪』(与謝野晶子著)
1901-1906 個人蔵

開催概要

会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
主催	和歌山県立近代美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会
協賛	ライオン、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜
後援	駐日チェコ共和国大使館、チェコセンター東京
協力	ルフトハンザカーゴAG、一般財団法人高久国際奨学財団
コーディネート	イデッフ
特別協力	チェコ国立プラハ工芸美術館、ダッハウ絵画館
会期	2019年11月2日(土)~12月15日(日)
	千葉市美術館 2019年9月7日(土)~10月20日(日)
	岡山県立美術館 2020年1月4日(土)~2月11日(火・祝)
	静岡市美術館 2020年4月11日(土)~5月24日(日)

開館時間 9時30分~17時(入場は16時30分まで)

休館日 月曜日(11月4日、11月11日は開館し、11月5日、11月13日休館)

観覧料 一般 1000(800)円、大学生 800(640)円 ()内は20名以上の団体料金

※ 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料

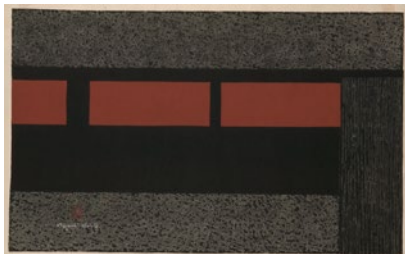
※ 第4土曜日(11月23日)「紀陽文化財団の日」として大学生無料

※ 11月22日は「ふるさと誕生日」として無料

掲載用画像については、
広報担当にお問合せ下さい。

文字のせ、トリミング
等のご遠慮ください。

同時開催 コレクション展 2019- 冬 特集 ニホンラシサを探せ 2019 年 11 月 2 日 (土) ~ 12 月 15 日 (日)



20. 斎藤清 「京の壁A」 1960 木版、紙

「ニホンラシサ」は、日本とその外の世界との接触で生まれた火花のようなもの。明治以降、西欧文明を移入したとき、そこに現れたのは、日本の強烈なキャラクターでした。美術における「ニホンラシサ」を強く意識させる作品と資料およそ 60 点で構成する特集展示です。



21. 上阪雅人 「富士山」 1960 木版、紙

関連事業

- だれでも美術館部 (みんなでお話をしながら作品を楽しむ鑑賞会)

【日時】12 月 7 日 (土) 14:00~ (展示室にて、要観覧券)

- こども美術館部 (隔月開催の小学生を対象とした鑑賞会)

【日時】12 月 7 日 (土) 11 時~12 時 (2 日前までに電話 (073-436-8690) かメール

《bijutsukanbu@gmail.com》で要申込、同伴される保護者は要観覧券)

- たまごせんせいとわくわくアートツアー 2019-2020

「たまごせんせいとわくわくアートツアー」は、和歌山大学の学生サークル「美術館部」の学生たちが来館のみなさまの鑑賞を楽しくサポートする取り組みです。

【日時】12 月 15 日 (日) 13:00~13:45、申込不要、要観覧券

- フロアレクチャー (学芸員による展示解説)

【日時】11 月 9 日 (土)、11 月 23 日 (土) 14:00~、申込不要

掲載用画像については、広報担当に
お問合せ下さい。

文字のせ、トリミング
等のご遠慮ください。

開催概要

会場 和歌山県立近代美術館 2 階展示室

主催 和歌山県立近代美術館

会期 2019 年 11 月 2 日 (土) ~ 12 月 15 日 (日)

開館時間 9:30~17:00 (入場は 16:30 まで)

休館日 月曜日 (11 月 4 日、11 月 11 日は開館し、11 月 5 日、11 月 13 日休館)

観覧料 「コレクション展 2019- 冬 / 特集 ニホンラシサをさがせ」のみ観覧の場合、

一般 350 (270) 円、大学生 240 (180) 円 () 内は 20 名以上の団体料金

* 特別展「2020 日・チェコ交流 100 年 ミュシャと日本、日本とオルリック」観覧の方は無料

* 高校生以下、65 歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料

* 第 4 土曜日 (11 月 23 日)「紀陽文化財団の日」として大学生無料

* 11 月 22 日は「ふるさと誕生日」として無料



たまごせん

▲ たまごせんせいと「わくわくアートツアー」
過去の様子

【お問い合わせ先】

特別展 2020 日・チェコ交流 100 周年

ミュシャと日本 日本とオルリック

学芸担当：井上芳子・青木加苗 広報担当：和佐

コレクション展 2019- 冬 / 特集 ニホンラシサを探せ

学芸担当：植野比佐見 広報担当：和佐

【同時開催】

外交史料と近代日本のあゆみ

(主催：和歌山県、和歌山県教育委員会、外務省外交史料館)

【会期】2019 年 11 月 2 日 (土) ~ 12 月 15 日 (日)

【会場】1 階展示室 B

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>